

豊栄病院 地域医療連携室だより 令和元年6月号

新緑はきれいだが、毛虫も多い。たぶんおいしいから。 今月も病診連携室だよりをお届けします。



臨床検討会のお知らせ

日時:令和元年7月9日(火) **午後7時**

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

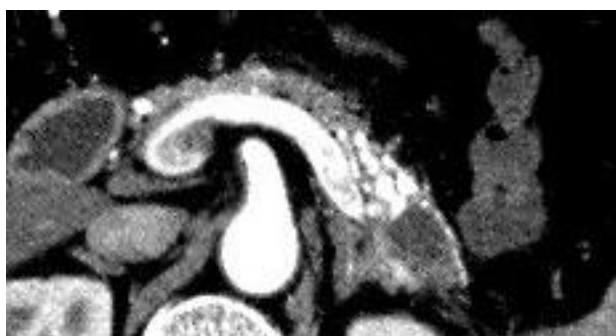
講演1:看取り検討会への Pros and Cons リストの導入(仮) 柄澤良 先生

講演2:持続性 GLP-1 受容体作動薬の使用経験(仮) 菊地博 先生

●院外からも多くの参加を。参加は患者総合支援センター天木まで。

●One of the Suggestive Cases (OSC:おすし)

40 歳代男性。3 週間前からの左上腹部痛で受診。血液検査、単純 CT は異常なし。痛み止め処方。しかし治らず、約 10 日後再受診。血中アミラーゼも含め、血液検査は異常がなかったが、通常造影 CT で膵尾部に前回なかった 10mm 強の嚢胞性病変と周囲の炎症が出現。翌日入院した。入院後、尿中アミラーゼを検査すると、1361 と高値。やはり、膵炎ありと判断した。タンパク分解酵素阻害剤で治療、難渋したが、腹痛は軽快した。



膵ダイナミック CT を再検すると、それまでわからなかった、膵尾部の動静脈奇形が判明、この動静脈奇形による膵炎と仮性嚢胞形成、と診断した。膵動静脈奇形は、膵臓の内部で動脈と静脈が毛細血管を介さずに直接交通することにより異常な血

管の塊が膵臓にできる稀な病気だが、膵炎症状で発見される症例が散見される。有症状例は外科的膵切除の適応となる病気で、この患者様も手術の予定となった。今回のケースでは、①稀ながら、腹痛の原因に膵動静脈奇形という疾患が存在すること、②腹痛の原因検索では、血液中だけでなく尿中のアミラーゼも検査すること、③膵疾患を検索するときは、膵ダイナミック CT を行うことが重要であること、を学んだ(小林真)。

●多職種チームでの看取りの検討会

日時:令和元年6月11日(火) 午後5時15分

場所:豊栄病院 本館5階 会議室

Pros and Cons リストを使用した模擬の看取り検討会を行います。そこで、今までの検討会で「判断できない」という結果だった症例を検討します。院外からの参加は患者総合支援センター天木まで。(柄澤良)。

●糖尿病教室

日時:令和元年7月19日(金) 午後1時半

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

初心者対象の糖尿病教室を隔月開催中です。是非患者様をご紹介下さい。看護、介護職員などスタッフの方々の参加も歓迎します。参加ご希望の方は地域医療連携室へご連絡下さい。次回は7月19日です(菊地博)。

●NST 勉強会

日時:令和元年6月6日(木)午後5時15分

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演:PEGと栄養材(株)テルモ

お待たせしました。問い合わせは患者総合支援センター天木へ(小林真)。



編集:ワイルドウォータージャパンカップを見に行った。漕いでないと転ぶ船です。腕力も必要だけど、流れを利用するセンスが重要。センター長柄澤良